

# 進学者(大学・専門学校等)求人実態アンケート 調査報告書

令和7年2月  
白河商工会議所

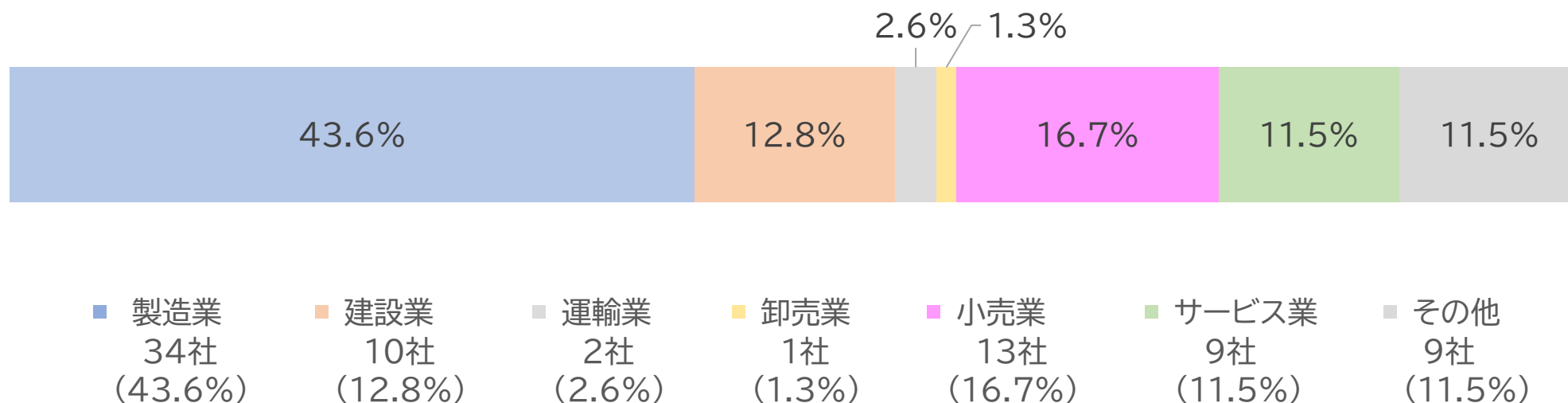


# 調査概要

- ① 調査の目的：地元企業の進学者(大学・専門学校等)の採用・求人の実態を把握し、政策提言や事業推進のための基礎資料とする。
- ② 調査対象：白河商工会議所 会員事業所、産業サポート白河メール会員
- ③ 調査期間：令和6年11月15日(金)～令和7年1月16日(木)
- ④ 調査方法：調査票を郵送・メールにより配布。FAX・メール・WEBフォームによる回収を実施。
- ⑤ 回収状況：78社

## ■ 回答事業所の属性 n=78

業種

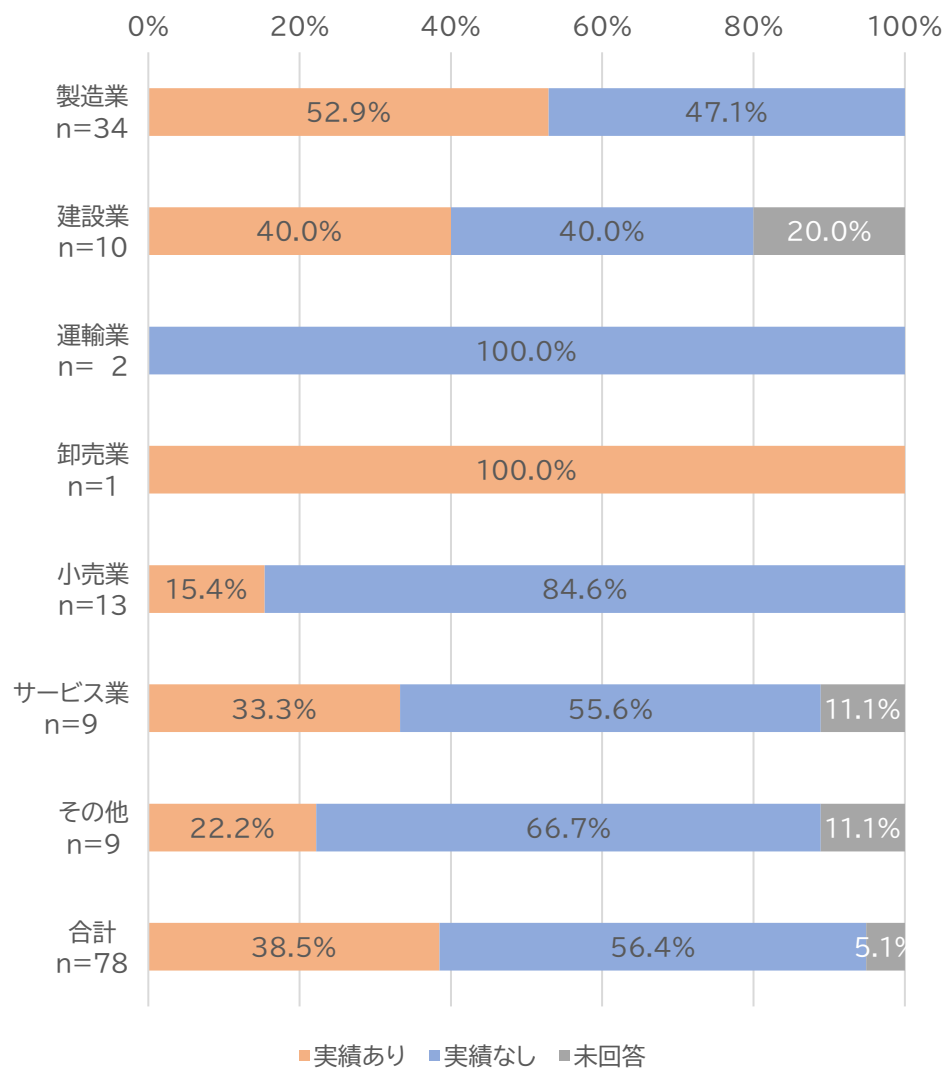




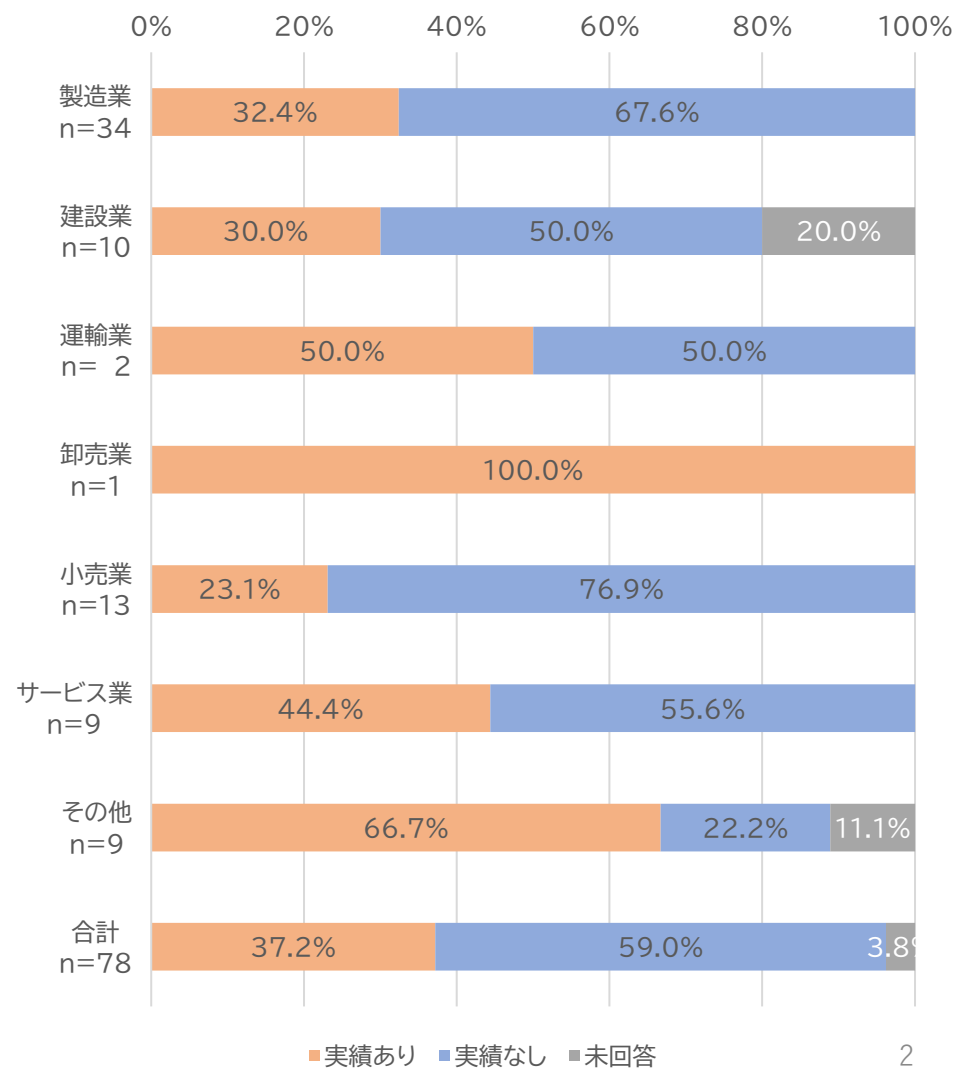
# 進学した学生(大学・専門学校)の「新卒の採用状況」

- ・大学卒と専門学校卒で、「実績あり」との回答がそれぞれ38.5%と37.2%。
- ・特に「製造業」では52.9%と大卒求人割合が最も高く、一方で「小売業」は15.4%と低い結果となった。

## ■ 大卒の採用(短大・大学院含む) n=78



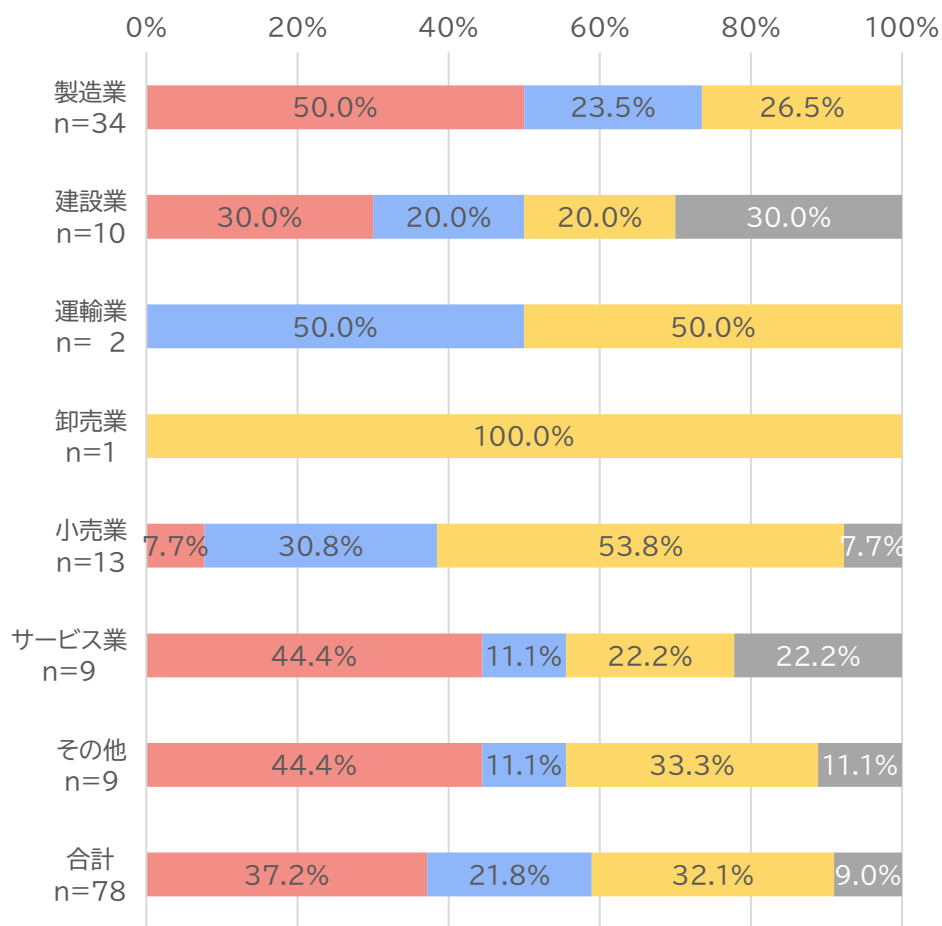
## ■ 専門学校卒の採用 n=78



# 進学した学生(大学・専門学校)の「新卒の今後の採用意向」

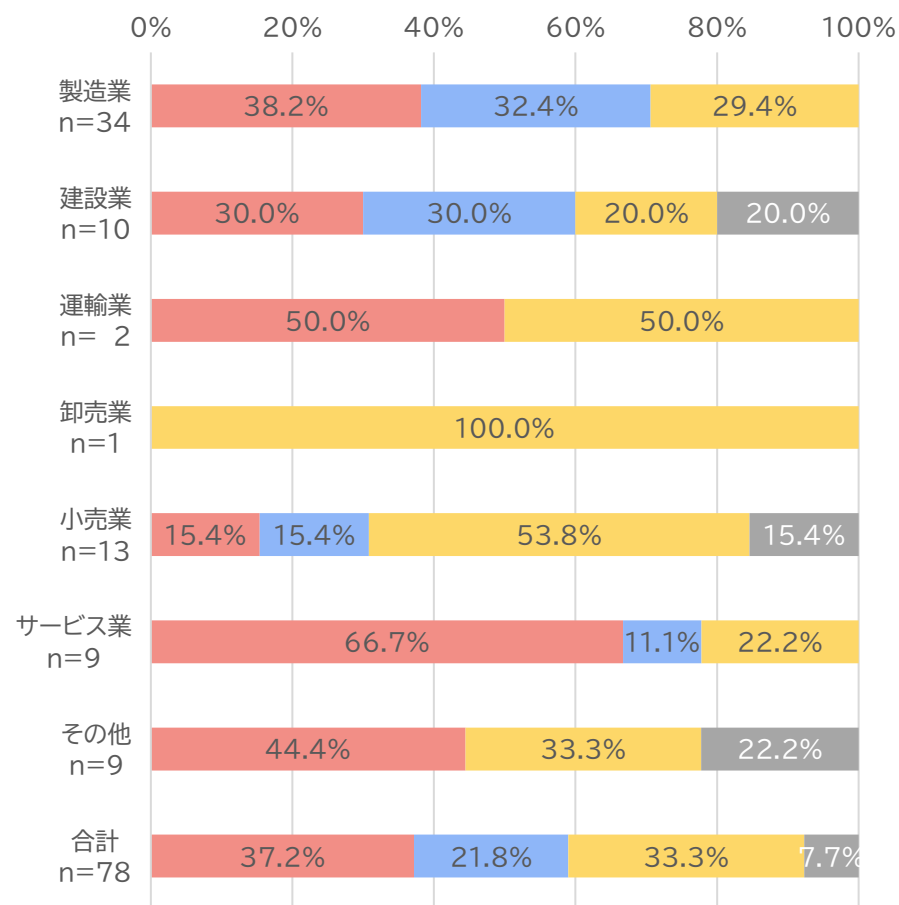
- ・大学卒と専門学校卒の両方で、「採用実績はないが採用したい」割合が**約2割**であった。
- ・「採用予定がない」理由として、「本社採用のため」(4件)、「充足している」(3件)、「必要がない・ターゲットでない」(2件)、その他として「教育できないため」、「人件費」、「従業員がいないため」、「工業高校に的を絞ったため」が挙げられた。

## ■ 大卒の採用(短大・大学院含む) n=78



- 1. 引き続き採用予定
- 2. 採用実績はないが採用したい
- 3. 採用する予定はない
- 4. 未回答

## ■ 専門学校卒の採用 n=78



- 1. 引き続き採用予定
- 2. 採用実績はないが採用したい
- 3. 採用する予定はない
- 4. 未回答

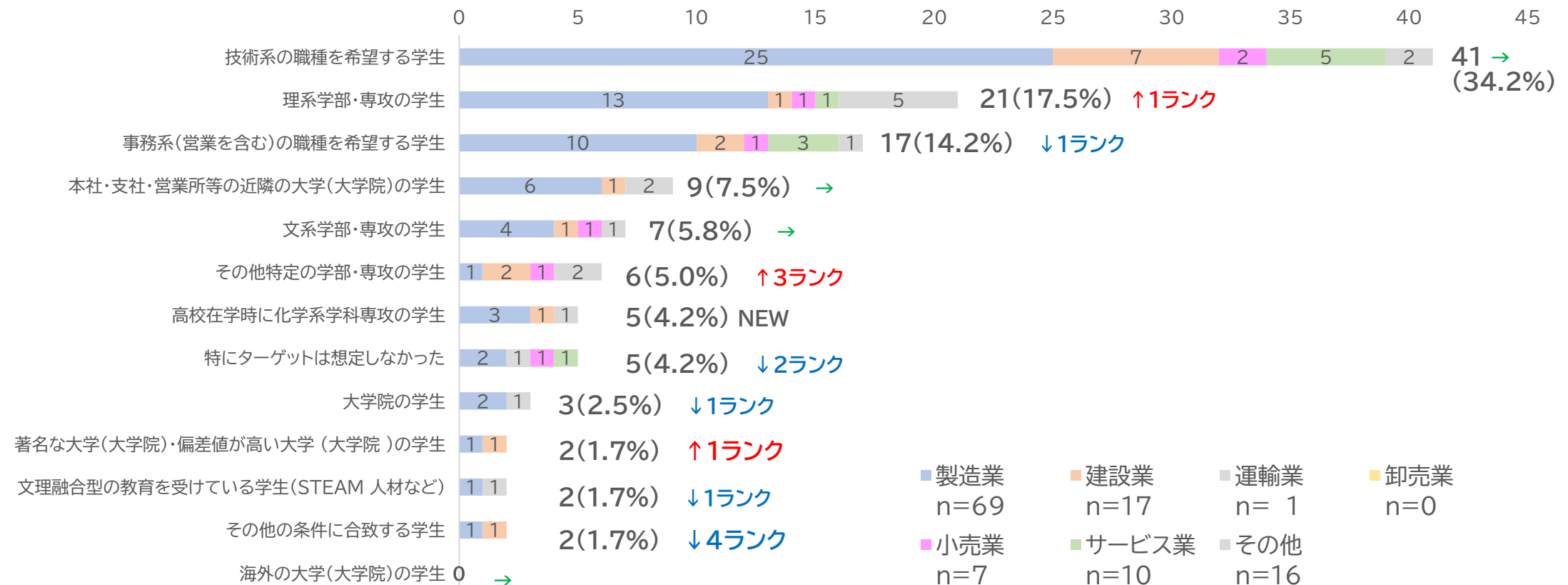


(新卒の今後の採用意向で「採用予定」「採用したい」と回答した方への設問)

# 採用したい学生の「属性」と「求める人物像」①

「技術系の職種を希望する学生」に最も関心が高く、全体の34.2%が該当した。(前年とほぼ同様)  
次に、理系学部・専攻の学生が17.5%で続いている。(前年は3位)

## ■ 属性【複数回答】n=120



## ■ その他特定の学部・専攻の学生・その他の条件に合致する学生と回答した方の具体的な内容【自由記述】

- ・ 生産関係を希望する学生
- ・ 機械工学等の学部に通っていた学生
- ・ 学歴 学科 学部不問
- ・ 建築学科、土木学科
- ・ 薬剤師
- ・ 医療・介護・福祉分野に関わる

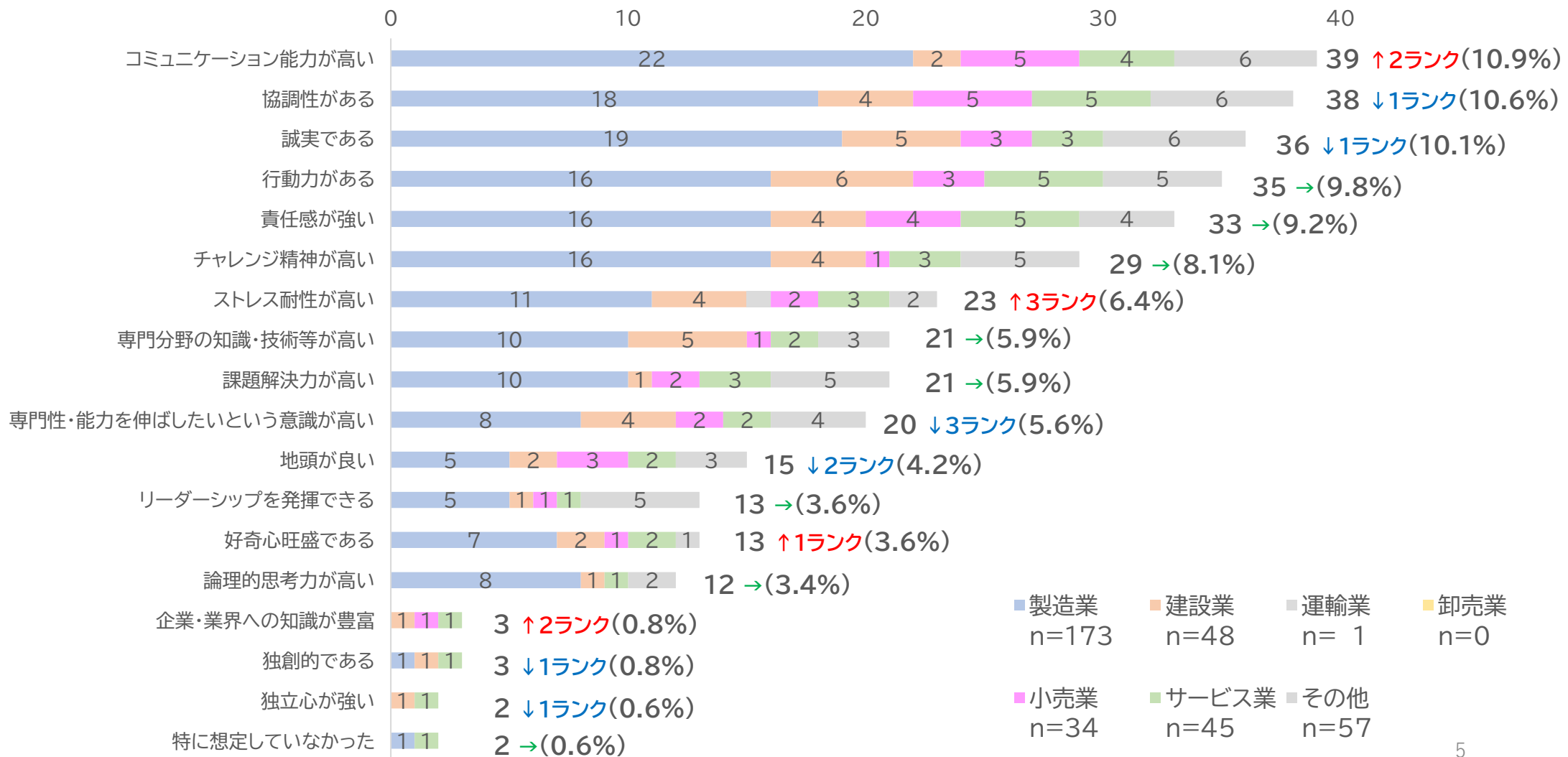


(新卒の今後の採用意向で「採用予定」「採用したい」と回答した方への設問)

## 採用したい学生の「属性」と「求める人物像」②

上位3つは、「コミュニケーション能力が高い」(10.9%)、「協調性がある」(10.6%)、「誠実である」(10.1%)  
前年度と要素は変わっていないが、順番が入れ替わり、「コミュニケーション能力」をより重視するようになった。  
また、前年度と比較すると「ストレス耐性が高い」ことへのニーズが高まっている。

### ■ 求める人物像【複数回答】n=358



# 採用内定者数・辞退者数について

## ■ 製造業 回答数19社

- 内定辞退者 ともに0人 11社
- 内定者 3人 2社
- 内定者 2人・辞退者 0人 1社
- 内定者 3人・辞退者 1人 1社
- 内定者 4人・辞退者 2人 1社
- 内定者 5人・辞退者 0人 1社
- 内定者 9人・辞退者 6人 1社
- 内定者 10人・辞退者 1人 1社

## ■ 建設業 回答数4社

- 内定辞退者 ともに0人 2社
- 内定者 3人・辞退者 0人 1社
- 内定者 1人・辞退者 1人 1社

## ■ 運輸業 回答数1社

- 内定者 6人・辞退者 0人 1社

## ■ 小売業 回答数4社

- 内定辞退者 ともに0人 3社
- 内定者 1人・辞退者 1人 1社

## ■ サービス業 回答数5社

- 内定辞退者 ともに0人 2社
- 内定者 1人・辞退者 0人 2社
- 内定者 3人・辞退者 2人 1社

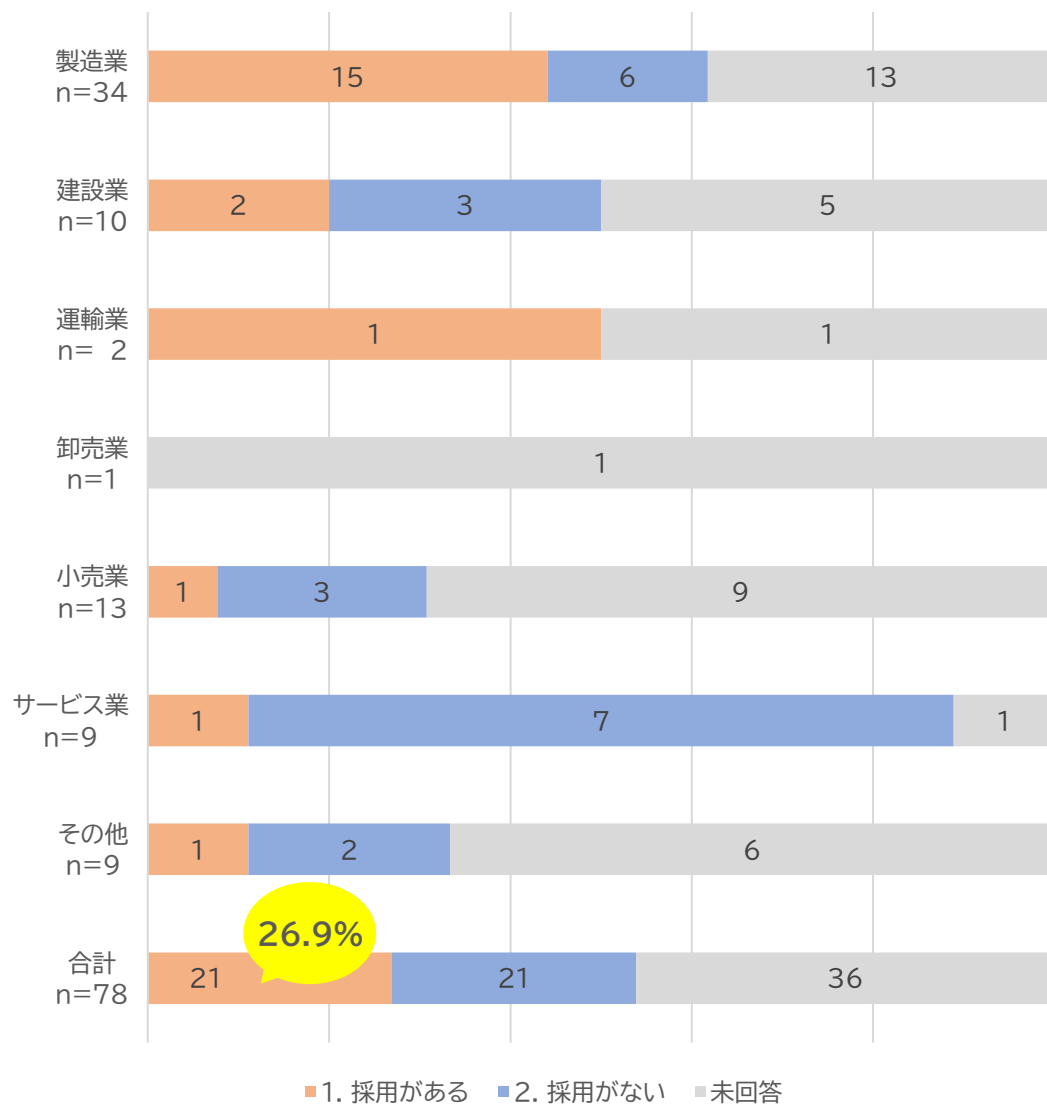
## ■ その他 回答数4社

- 内定辞退者 ともに0人 1社
- 内定者 5人・辞退者 1人 1社
- 内定者 3人・辞退者 0人 1社
- 内定者 1人・辞退者 1人 1社

# 文系学部出身の採用について

- ・全体で、「文系採用がある」との回答が**26.9%**、製造業でも約4割の事業所で「採用あり」と回答。
- ・具体的には「営業職」、「技術職」が多い結果となった。

## ■ 文系採用の実態 n=78



業種	具体的な職種
製造業	営業職
	営業職
	営業職、生産管理職、技術職
	営業職、総務職、経理職
	技術課(設計・開発)
	技術職(設計・開発)
	技術部
	経営企画部、生産企画部、管理部、営業部
	事務系
	事務系
	主に間接部門の事務系職種
	生産技能職(タイヤ製造)
	製造技術
	総務、経理、生産管理、品質保証
建設業	調達関係
	施工管理者、事務職
	総務課、経理課の事務全般
運輸業	電気工事
小売業	倉庫内フォークリフト作業
サービス業	営業職
	企画制作
その他	事務職
	金融事務



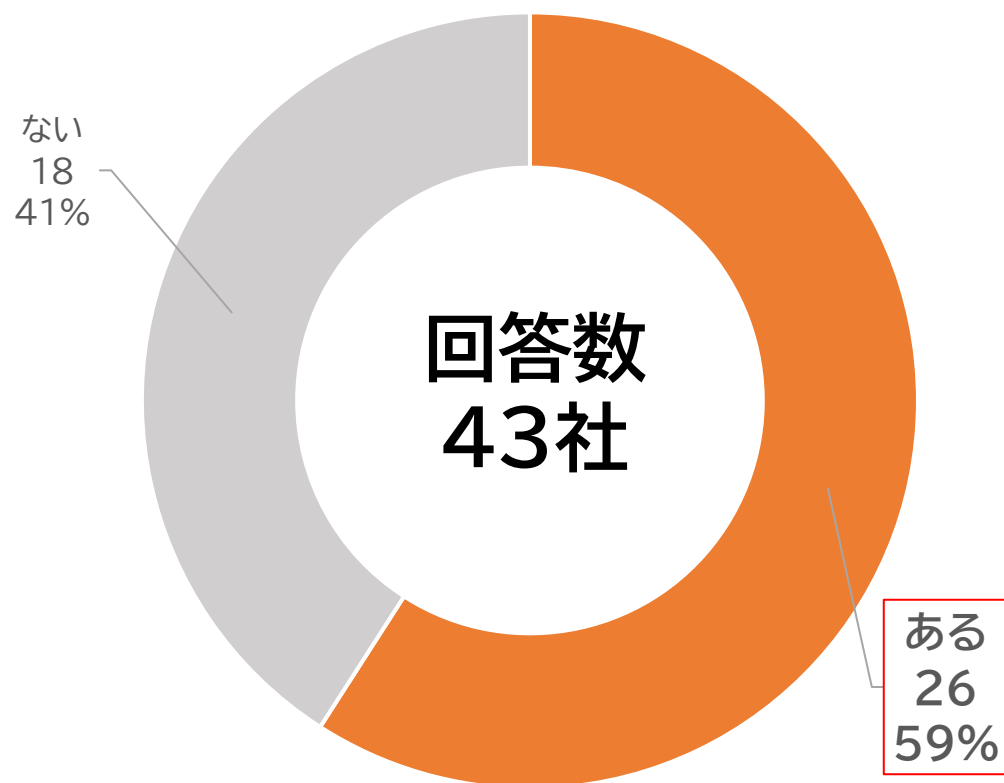


(大卒・専門学校卒の採用について「実績あり」と回答した方への設問)

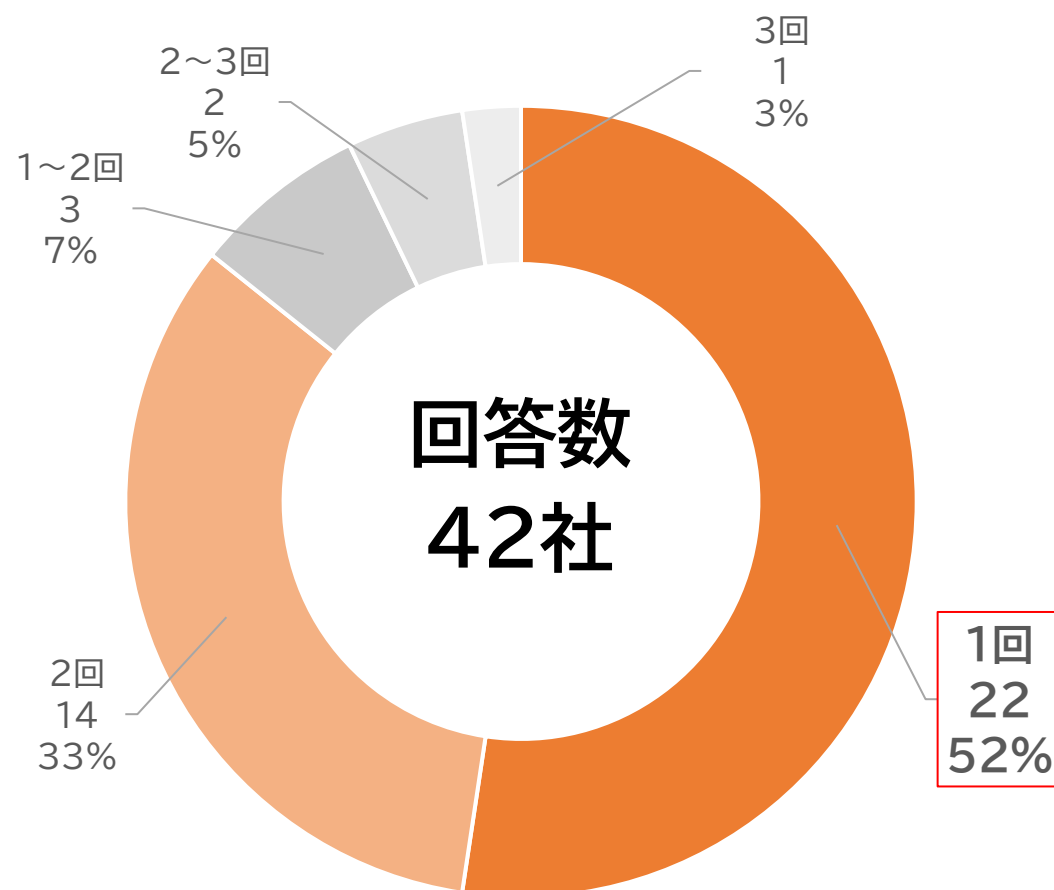
## 採用試験方法等について

- ・回答企業のうち、約6割が「筆記試験の実施」を「ある」と回答。
- ・面接試験の回数は「1回」が約半数であり、選考期間の短縮や内定辞退者数を減らすためと思われる。

■ 筆記試験の有無 n=43



■ 面接試験の回数 n=42



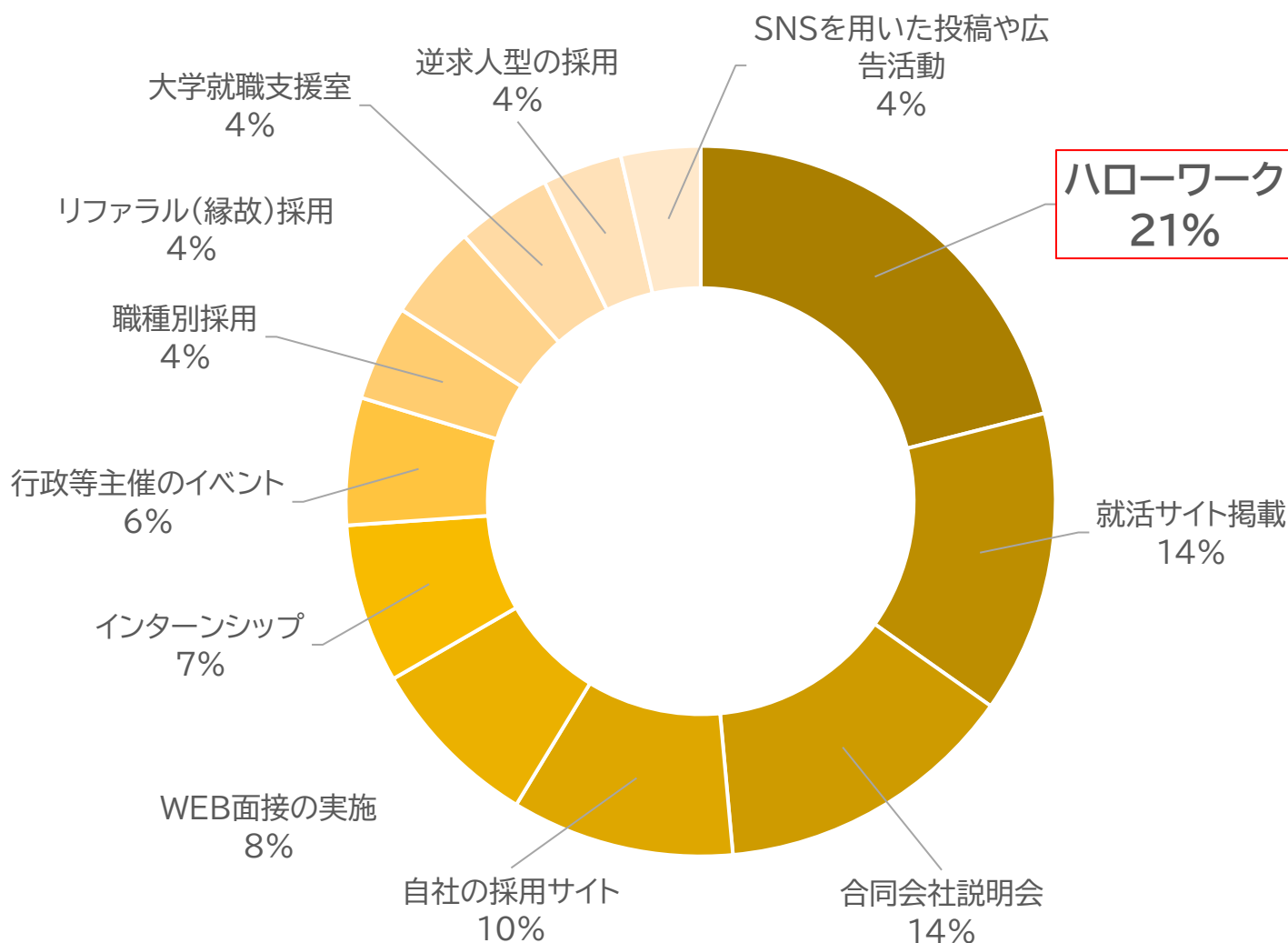


# 採用活動に実施した方法

・採用手法として、「ハローワーク」(21%)、「就活サイト掲載」(14%)、「合同会社説明会」(14%)が多く、実施してよかった方法も同じ結果となった。

・一方で、学生の「ハローワーク」利用は低く、「就活サイト」や「大学就職支援室」、また身近な人(親や先輩)の意見を重視する傾向がみられた。(R6学生意識調査による)

## ■昨年度、採用活動に実施した採用手法 n=138【複数回答】



学生意識調査より、

『就職活動をする上で参考または利用するもの』

第1位 就活サイト

第2位 大学就職支援室

:

第12位 ハローワーク (16位中)

## ■実施してよかったと思うもの

1位 ハローワーク(6社)

2位 合同会社説明会(5社)

3位 就活サイト掲載(4社)

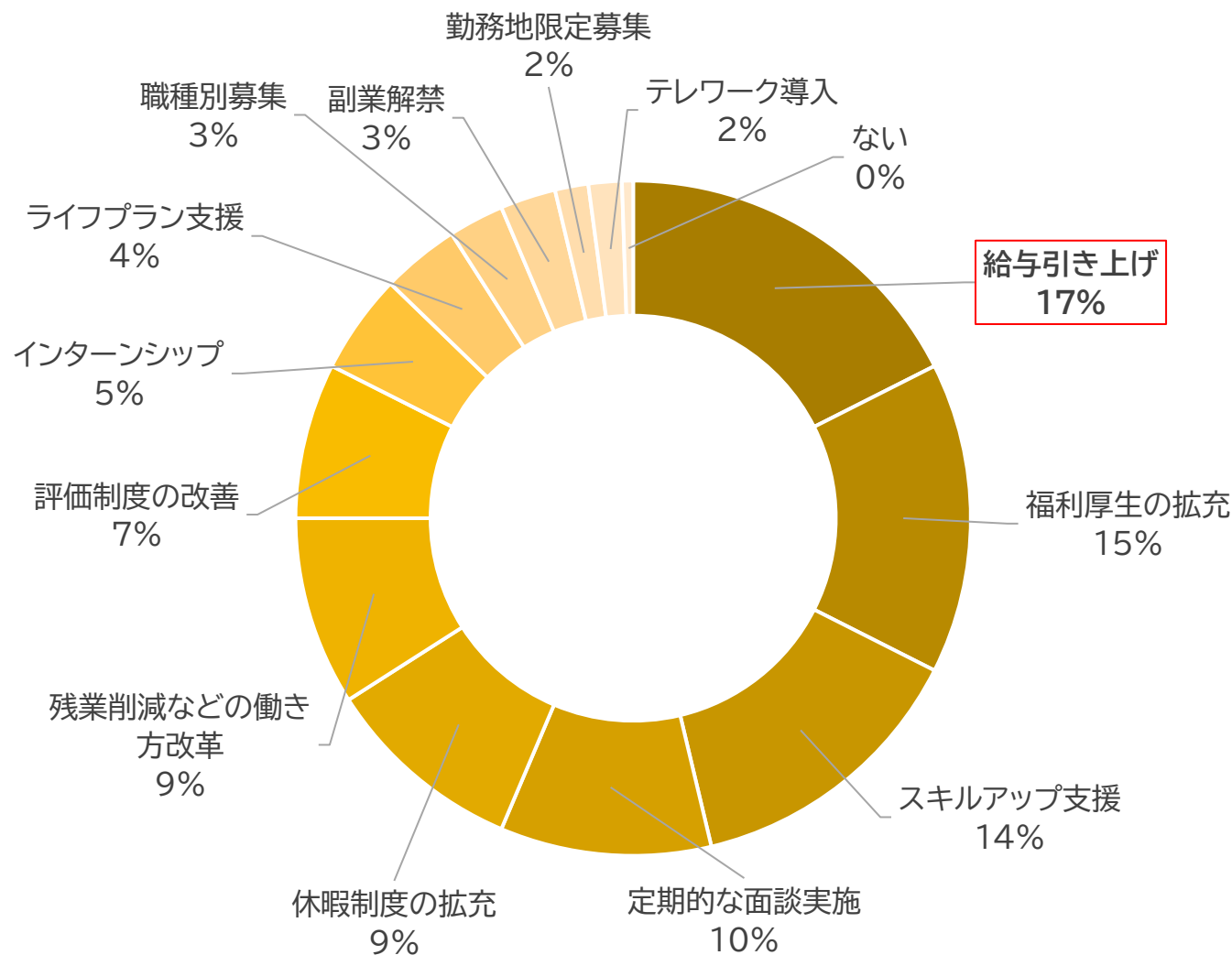
※マイナビ、リクナビ、シゴトサガス、  
キャリアス就活、Offer Box、indeed、  
handy



# 長期定着のための人事施策

- ・実施施策として、「給与引き上げ」が最も多く、効果を感じた施策としても一位となった。
- ・企業と学生間で、両者とも「給与」「福利厚生」「休暇」を重要視している点は共通した。

## ■入社後の長期定着を見すえて取り組んでいる人事施策 n=188【複数回答】



学生意識調査より、

『地元企業に就職しようとした際に重視していること』

第1位 平均年収

第2位 福利厚生の内容

『快適な職場として求めること』

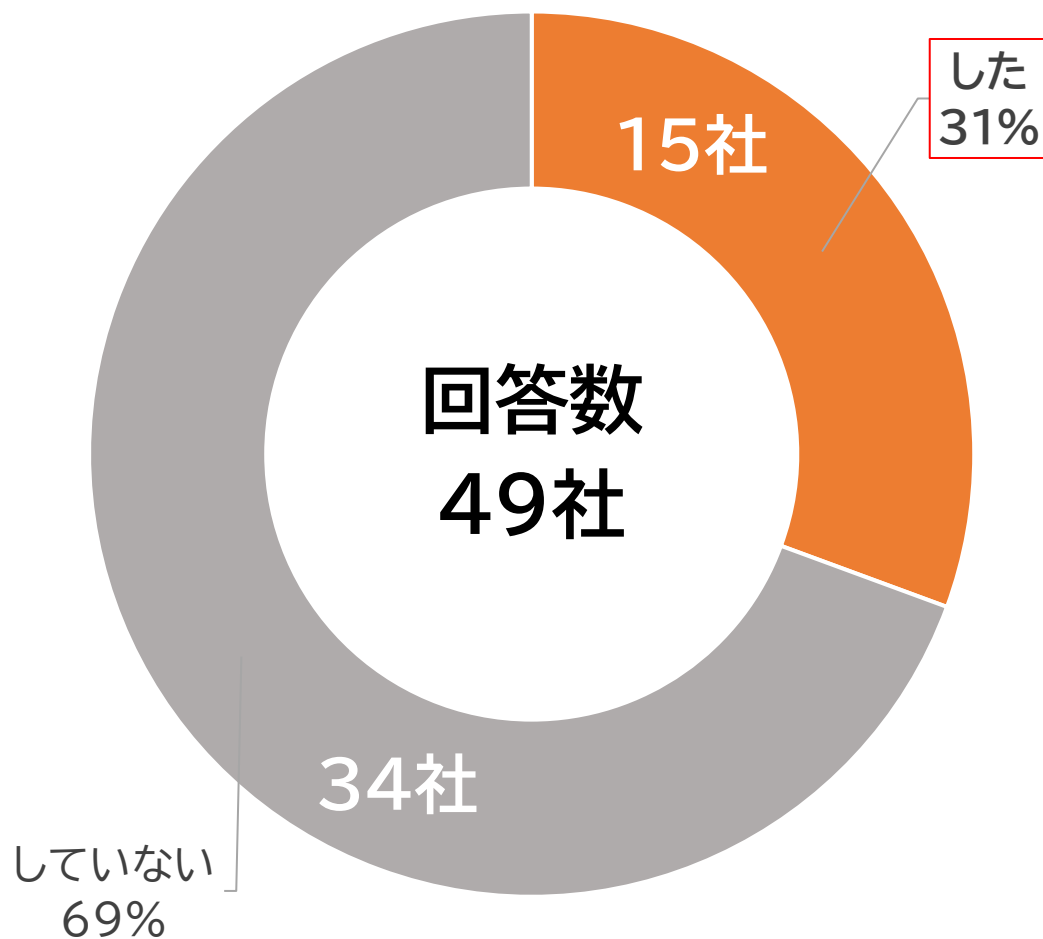
第1位 休みがとりやすい・多い

第2位 残業時間が少ない

### ■効果を感じた施策

- 1位 給与引き上げ(9社)
- 2位 評価制度の改善(3社)
- 同率2位 休暇制度の拡充(3社)

## ■ 昨年度、インターンシップを実施したか。 n=49



学生意識調査より、  
「エールしらかわで発信して欲しい情報」  
第3位 地元企業のインターン情報

## ■ 採用活動との関連性 n=15

1. 採用活動とは関係していない(6社)
2. インターンシップにおける評価を採用選考に利用した(6社)
3. 参加者に会社説明会や面接へ応募するよう個別に勧誘するなどしたが、インターンシップにおける評価を採用選考に利用しなかった(3社)



## 行政や商工会議所に求める施策・要望等

市内出身学生がUターンで市内企業へ就職した際の奨学金返還支援

情報が少ない

若い人の県外流出を防ぐ行政

中央ではなく地方の景気を良くして下さい

高校2年生向けの地元企業説明会は実施されていますが、大学終了予定者など向けの企業説明会があればいいと思います。

学生が地元になどのような企業があって、どこで活躍できるかを知り、考える機会が少ないため、地元企業を知る機会を少しでも多く設けることを期待します。

また、イベントやエール白河のような新しいツールが出来た場合にお声がけください。

高等教育機関を誘致してほしい。福島、郡山、いわき、会津には大学などの高等教育機関はあるが、白河にはない。

小中学生への働きかけ

自社PR動画作成の支援や、毎年最低1名は採用できる具体的な支援

学生と企業が接する機会を増やしてほしい

高卒就職希望者への説明会のイベントの開催回数を増やしていただきたい。

地元Uターン希望者への選択肢を増やし、その施策が学生に伝わるようお願いいたします。